

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	W	G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能										3.6
Q-1 室内環境							0.40			3.9
1 音環境						3.4	0.15			3.4
1.1 騒音						3.0	0.40			
1 1 暗騒音レベル						3.0	1.00	3.0		
2 設備騒音対策										
1.2 遮音						4.2	0.40			
1 開口部遮音性能						5.0	0.60	3.0		
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0		3.0		
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境						3.9	0.35			3.9
2.1 室温制御						4.0	0.50			
1 室温設定						3.0	0.30	3.0		
2 輻射変動・過熱制御性										
3 外皮性能						3.0	0.20	3.0		
4 ゾーン別制御性						5.0	0.50			
5 濡湿・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間・空間に異なる配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御						5.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0		
3 光・視環境						3.9	0.25			3.9
3.1 昼光利用						4.6	0.30			
1 昼光率						5.0	0.60	3.0		
2 方位別開口								3.0		
3 昼光利用設備						4.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策						3.0	0.30			
1 照明器具のグレア										
2 昼光制御						3.0	1.00	3.0		
3.3 照度						3.0	0.15			
1 照度						3.0	1.00	3.0		
2 照度均斉度										
3.4 照明制御						5.0	0.25	3.0		
4 空気質環境						4.1	0.25			4.1
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学物質汚染						4.0	1.00	3.0		
2 気体汚染対策										
3 タバコ対策										
4 レンガ対策										
4.2 換気						3.6	0.30			
1 換気量						3.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮						5.0	0.33	3.0		
4 給気計画										
4.3 運用管理						5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						5.0	0.50			
2 喫煙の制御						5.0	0.50			
Q-2 サービス性能							0.30			4.0
1 機能性						3.6	0.40			3.6
1.1 機能性・使いやすさ						3.6	0.60			
1 広さ・収納性						4.0	0.33	3.0		
2 高度情報通信設備対応						4.0	0.33	3.0		
3 バリアフリー計画						3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性						3.6	0.40			
1 広さ感・景観						4.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース						4.0	0.33			
3 内装計画						3.0	0.33			
2 耐用性・信頼性						4.0	0.31			4.0
2.1 耐震・免震						4.0	0.48			
1 耐震性						4.0	0.80			
2 免震・制振性能						4.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						4.4	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔						5.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						5.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔						5.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.29			
2.3 適切な更新										
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新										
2 配管・配線材の更新										
3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性						3.4	0.19			
1 空調・換気設備						4.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						4.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目		重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性						4.4	0.29	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり						4.2	0.31	-	-	
1 階高のゆとり					階高4.0m(>3.9m)	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ						3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり					事務所対応床加重 5000N/m ²	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性						4.2	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					ルート、将来配管ルートの確保、PSの設置。	3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					EPSの設置、ケーブルラック、配管による敷設ルート。点検口の設	5.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					EPSの設置、ケーブルラック、配管による敷設ルート。点検口の設	5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					EPSの設置、ケーブルラック、配管による敷設ルート。点検口の設	5.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					主要設備機器の更新対応ルートの確保且つ更新時にも建物機能	5.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					...	3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			G		景観計画重点区域における届出	4.0	0.20	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.5	0.40	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		W	G		角の青空空地の確保、セットバックによる公開空地、高木などの設	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-		-	-	3.6
LR-1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制		W			PAL値<-25%以下	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用						3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		W		S		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		W			ERR19.2%	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング		W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護						3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水		W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用						3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無		W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材						4.0	0.65	-	-	4.0
2.1 資源の再利用効率						3.6	0.37	-	-	
1 躯体材料の再利用効率		W			再生骨材を利用	4.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率		W				3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材		W				-	-	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料					有害物質を含まない材料を選択している	5.0	0.09	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用		W			既存建物の地下躯体を再利用	4.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		W			部材のユニット化、躯体と仕上材が容易に分離できるS造としてい	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避						3.3	0.18	-	-	
1 消火剤		W			ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材		W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.8
1 大気汚染防止		W				3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2.2 振動						3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制						3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制					ガラスカーテンウォール面は太陽光があたりにくい北側に極力配置	5.0	0.05	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善		W	G	S		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.30	-	-	3.0
6.1 雨水処理負荷抑制		W				-	-	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.14	-	-	
6.3 交通負荷抑制					駐輪場、駐車場、荷捌き駐車場の適切な量の確保	4.0	0.43	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷		W		S		2.0	0.43	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積按分
		8,278 m ²	-	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		5.0	-	-	-	5.0
3 設備システムの	ERRIによる評価	5.0	-	-	-	
高効率化	個別設備による評価	-	-	-	-	5
3.1 空調設備		5.0	-	-	-	-
3.2 換気設備		4.0	-	-	-	-
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		-	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-